

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表用)

令和6年3月15日公表 空色キッズ

※この「事業所における自己評価結果(公表用)」は各職員の自己評価を踏まえて事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		スペースは指定の基準以上の広さを確保している。	利用者数や利用者の年齢によりスペースが十分でない と判断したときは、室内活動と屋外活動にグルー プ分けを行う等の対応をしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準人員に加え、児童数に応じて児童指導員 等を2～4配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか		○	バリアフリーについては必要に応じて段差ス ロープ等を使用することで対応する。	
業 務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画して いるか	○		定例のミーティングで議題にあげ共有してい る。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげているか	○		年一回保護者に対し評価アンケートを実施 し、取りまとめたものを職員間で共有して改 善案を話し合っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○		結果をホームページで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は現在実施していない。今後 実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	○		社内研修、外部研修にて定期的に勉強会、研 修を実施している。	外部研修を受講した職員は社内研修でフィードバッ クを行うことにより外部研修に参加できなかった職 員にも内容を共有できるようにしていく。
適 切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントは利用開始時と年度初めに保護 者に作成を依頼し、その内容を踏まえて保護 者から聞き取りを行った上で支援計画を作成 している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用して いるか	○		事業所で独自に作成したアセスメントシート を使用している。作成後は児童の個人ファイ ルに保存し、すぐに関覧できるようにしてい る。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている か	○		月次、週次でミーティング を行い活動プログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	○		定期的に行うもの、新しいものを組み合 わせながらプログラムを決定している。 定期的に行うプログラムは、利用者の成 長や習熟度に応じて少しずつルール等 を変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	○		学校での活動後の支援である平日は、子 たちの体力や疲れを考慮して課題を設定 し、学校休業日は支援時間が長い ため、平日では行えないプログラム内容を踏ま えた課題を設定し、支援している。	

の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用者の年齢や利用日、特性に応じて小集団や個別の活動を行うことを想定して作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝にミーティングを行い共有している。出勤が午後からの職員には個別に確認することで共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	振り返りは行っているが、退勤時間がそれぞれ違うため連絡ボードや次の日に共有することもある。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用日ごとに全ての児童に対して支援記録を作成している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングは6ヶ月に一回以上行い、その結果に応じて支援計画を変更している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		児童発達支援管理責任者がガイドラインの内容を踏まえた上でそれぞれの児童に応じた支援内容を設定している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に職員に対象児童の聞き取りを行った上で児発管が参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		児童によっては担任の先生と直接、連絡帳を行ったり、予定表等を交換しているが、基本的には保護者経由で情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			これまで医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童の利用はない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		関係各所の職員と会議を行ったり、電話等で連絡を取りながら連携を行っている。また相互に見学を行うこともある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	これまで該当者1名で、その児童に関しては行っていない。	必要に応じて支援内容等の情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて専門機関に連絡を取り連携支援に結び付けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		放課後児童クラブとの交流はないが、外遊びで公園を利用する場合などに地域の児童と交流する機会がある。	今後、イベント等で交流の機会があれば参加を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在は参加できていない。	開催予定等を確認しながら参加の機会を探っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の送迎時や連絡帳、電話等で子どもたちの情報共有をし、保護者からお子様の対応についてご質問があれば、改善方法等の助言を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	家族支援は個別には対応しているが、イベントやプログラムとしては行っていない。	保護者の意向を確認したうえで、家族支援プログラムの実施を検討する。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に重要事項説明書に沿って説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		適宜、来所いただいたり、電話連絡等で応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者の意向を確認したうえで、保護者会等の開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れがあった場合には事業所内で共有し、迅速かつ適切に対応するように努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、お知らせを発行している。また適宜、書面で案内を行っている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に個人情報の取扱いについて説明すると共に、契約後は個人情報の取り扱いに十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様や保護者の状況に応じて、意思の疎通や情報伝達のために絵カード等を用いた視覚的支援等を行っている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今のところ行っていない。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを策定し、すぐに閲覧できるよう事業所内に掲示している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震や火災等を想定した避難訓練を定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		児童虐待防止研修と身体拘束の社内研修を年一回以上実施している他、社外研修にも参加後、その内容について職員にフィードバックしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束についての研修時に指針について職員で検討している。契約時には身体拘束についての説明を行い、ご納得いただいた上で契約を交わしているが、これまで身体拘束が必要な児童の利用はない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	すべての児童について、医師の指示書を確認してはいるが、アセスメントを通じて、利用児全員の食物アレルギーの有無を確認している。	利用の都度、利用表等に掲示することにより全職員で情報を共有し該当物質との接触がないように留意していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった際は、記録に残し職員で共有して改善を行っている。	